



<p>干 葉</p> <p>(生育状況等)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>(作柄)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月前点米カメシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ふさこがゆ」及び「ふさおとし」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「陸王」の本格栽培が開始</p>
<p>新 潟</p> <p>(生育/作柄)</p> <p>【9月9日現在の県内全域の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コシヒカリ」の出穂期は平年より1日早い9月3日。出穂期以降、異常高温が続いたため、積算気温による収穫適期のめやすは県平均で平年より9日早い9月4日頃(積算気温 900℃)で、すでに収穫適期に入っている区域がある。</li> <li>・ 「コシヒカリ」の生育調査における収穫前品質調査(出穂期後の積算気温800℃)では、乳白粒や基部未熟粒などの未熟粒がかなり多く、登熟期後の異常高温の影響が認められる。</li> <li>・ 「新之助」の出穂期は平年より2日早い9月9日。出穂期以降、異常高温が続いたため、積算気温による収穫適期のめやすは、県平均で平年より10日程度早い9月14日頃(積算気温 1,000℃)の見込み。積算気温に対する稲の黄化速度は早く、登熟が進んでいる状況。(新潟県 9月8日付)</li> </ul> <p>(この夏の高温・洪水に伴う農作物等の被害状況 9月5日現在 速報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稲(飼料用米等含) 70ヘクタール(枯死・枯れがあり、葉の萎凋) (新潟県 9月6日)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、ツマグロヨコバイの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいさき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、産量水の多い「ゆきんずめ」「つぎあか」「及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
<p>富 山</p> <p>(生育/作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コシヒカリ」等の中生品種については、梅雨明け以降の高温の影響などから、近年より5日程度早く成熟期を迎えたと見込まれる。</li> <li>・ 7月31日に出現した「コシヒカリ」の刈取期目安は9月2日頃と見込まれる。 (富山県農林水産部 8月21日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、ツマグロヨコバイの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、産量水の多い「ゆきんずめ」「つぎあか」「及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
<p>石 川</p> <p>(生育/作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コシヒカリ」等の中生品種は、梅雨明け以降の高温の影響などにより、前年より4～6日程度成熟期が早まっている。(石川県 8月23日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、ツマグロヨコバイの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハネエレン」を中心とする品種構成であるが、近年、親オリジナル新品種の「ひくまん」が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p> <p>(生育/作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月中旬稲穂「いちほまれ」の県全体の出穂期の盛期は8月3～8日頃で、成熟期の盛期は9月7～13日頃となる見込み。</li> <li>・ 「コシヒカリ」と同様に出穂期が高温だったことから、断断れしやくとなっている。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部 9月5日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、ツマグロヨコバイの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハネエレン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
<p>長 野</p> <p>(生育/作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コシヒカリ」は、5月上旬までに田植えされた圃場の登熟がかなり早まっており、著しい高温で穀水分が25%以下に下がっている模様。</li> <li>・ また穂の先端部では断断れが散見されている。</li> <li>・ 早生品種(あきたこまち、美山錦等)の収穫は8月20日頃から始まったが、収穫はやや遅れている。 (松本農業農村支援センター技術普及課 9月1日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁)</p> <p>関東甲信地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、ツマグロヨコバイの発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。</p>
<p>滋 賀</p> <p>(生育/作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月4旬以降、気温は平年並～高く、日照時間は概ね平年並～多く推移しており、作況調査の「みずかがみ」「コシヒカリ」の登熟は順調に進んでいる。</li> <li>・ 「みずかがみ」「コシヒカリ」の成熟期は、平年よりやや早い見込み。</li> <li>・ 県内ほ場の月上旬稲穂「みずかがみ」では、成熟期を迎えており、中生品種の成熟期は平年より早まるとみられる。 (滋賀県農業技術振興センター 8月22日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多く、日照時間は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温登熟性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>
<p>兵 庫</p> <p>(作柄)</p> <p>【8月30日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北部の早生品種「コシヒカリ」の出穂期は平年(7/29)と同程度。草丈は平年並、茎数はやや多い。成熟期は平年よりやや早いと考えられる。</li> <li>・ 県南部の出穂期は、遅熟品種の「キヌヒカリ」「どんとこい」は平年より2日早く、中生品種の「ヒノヒカリ」、晩生品種の「山田錦」も平年より2日程度早くなる見込み。</li> <li>・ 草丈は平年に比べ、「キヌヒカリ」「ヒノヒカリ」「きぬむすめ」で同程度。「どんとこい」「山田錦」でやや高い。</li> <li>・ 茎数は「キヌヒカリ」「どんとこい」で平年並～やや少なく、「山田錦」では平年よりも多く、「ヒノヒカリ」「きぬむすめ」は平年より少ない。</li> <li>・ 成熟期はやや早まると考えられる。 (兵庫県 9月5日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多く、日照時間は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推奨している。</p>
<p>岡 山</p> <p>(生育/作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イネ(晩生種)の生育は平年並である。(岡山県病害虫防除部 8月29日付)</li> <li>・ 早生品種は、既に一部で成熟期を迎えている。中生品種の「きぬむすめ」は、既に刈取が始まっており、「ヒノヒカリ」はこれから出穂期を迎える。 (岡山県農林水産総合センター・岡山県農業技術推進会議 8月22日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、斑点米カメシ、該枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
<p>広 島</p> <p>(作柄)</p> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やや不良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>		<p>【向こう1か月の天候の見直し 9月9日～10月8日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見直し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点米カメシ、斑点米カメシ、該枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 8月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</p>

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月9日～10月8日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁松山地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点来カメムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</li> </ul>
高 知	<p>(普通栽培) 出穂始～乳熟期、時期：並、生育：並</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月上旬に來襲した台風の影響もほとんど無く、順調に経過している。出穂時期もほぼ平年並で、収穫時期も9月末～10月上旬と見込まれている。</li> <li>(高知県病害虫防除所 9月5日付)</li> </ul> <p>(作柄) 【作柄の良否】(見込み) (普通栽培) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>【早期栽培の作柄概況】(予想収量) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作況指数 101。(農林水産省 8月31日)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月9日～10月8日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁松山地方気象台)</p> <p>向こう1か月前点来カメムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 8月9日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
福 岡	<p>(8月18日現在)</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月中下旬頃の「夢つくし」「コシヒカリ」の成熟期は平年に比べてやや早く、収穫作業は8月16日頃から本格化した。</li> <li>・台風による倒伏は少なく、収量は平年並と見込まれるものの、登熟期が高湿で経過したため、白米熟粒の発生が多い見込み。</li> <li>・イネカメムシによる吸汁害の発生も一部で見られ、収量及び品質の低下が懸念される。</li> </ul> <p>【普通水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂期は、6月10日頃「夢つくし」が8月8日、6月中旬頃「元気つくし」が8月19日頃で、平年並の見込み。</li> <li>・トビイロウンカや黒いもちの発生は平年より少ないものの、イネカメムシの発生が一部地域でやや多い。</li> <li>・「夢つくし」の登熟期は、平年並からやや早いと予想され、収穫は9月中旬が、登熟期となる見込み。</li> <li>(福岡県農業総合試験場 8月21日付)</li> </ul> <p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや不良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月9日～10月8日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は9月13日頃からかなりの高温。 (福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。従って「夢つくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本	<p>【作柄の良否】(見込み) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>(作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月9日～10月8日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は9月13日頃からかなりの高温。 (福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</li> </ul>
宮 崎	<p>【作物の生育状況(8月上・中旬)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通水稲は幼穂伸長期～穂ばらみ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月28日付)</li> </ul> <p>(生育/作柄) 【作柄の良否】(見込み) (普通栽培) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年並。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>【早期栽培の作柄概況】(予想収量) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作況指数 102。(農林水産省 8月31日)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月9日～10月8日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みどり38」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿 児 島	<p>【作柄の良否】(見込み) (普通栽培) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや不良。(農林水産省 8月31日付)</li> </ul> <p>(作柄) 【早期栽培の作柄概況】(予想収量) (8月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作況指数 102。(農林水産省 8月31日)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 9月9日～10月8日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は9月13日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急進に進んでいる。</li> </ul>

注1：県及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を掲載情報欄で取り纏め。  
注2：生育状況等(農林水産省公表資料の抜粋)については令和5年9月8日17時時点での取り纏め。  
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 9月1日現在(北海道農政部 9月7日)、  
農作物生育状況 9月1日現在(北海道空知総合振興局 9月7日)、  
農作物生育状況 9月1日現在(北海道石狩振興局 9月7日)、  
農作物の生育状況 9月1日現在(北海道後志総合振興局 9月7日)、  
農作物の生育状況 9月1日現在(北海道胆振総合振興局 9月7日)、  
農作物の生育状況 9月1日現在(北海道日高振興局 9月7日)、  
農作物の生育状況 9月1日現在(北海道渡島総合振興局 9月7日)、  
農作物の生育状況 9月1日現在(北海道檜山振興局 9月7日)、  
農作物の生育状況 9月1日現在(北海道上川総合振興局 9月7日)、  
農作物生育状況調査の概要 9月1日現在(北海道留萌振興局 9月7日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 9月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 9月7日)、  
水稲作況調査(8月31日現在の登熟状況)(地軸)青森県産業技術センター 農林総合研究所 9月1日)、  
農作物技術情報第6号水稲(岩手県 8月29日)、  
登米地域の稲作通信第8号(宮城県登米農業改良普及センター 9月1日)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 9月7日閲覧)、  
米づくり技術情報No.17(山形県 9月1日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室 8月29日)、  
高温・湯水に伴う農作物等の被害状況について(速報)(新潟県 9月6日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第8号)(新潟県農林水産部 9月8日)、  
TACS情報第8号(富山県 7月18日)、  
水稲の適期収穫等について(石川県 8月23日)、  
稲作情報No.20(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 9月5日)、  
令和5年作物技術普及情報第14号(松本農業農村支援センター 9月1日)、  
令和5年度水稲生育診断情報No.5(滋賀県農業技術振興センター 8月22日)、  
令和5年度兵庫県農業気象技術情報第5号(9月情報)(兵庫県農林水産部 9月5日)、  
水稲(中生・晩生品種)の高温障害回避の技術対策について(岡山県農林水産総合センター、岡山県農業気象技術担当者会議 8月22日)、  
令和5年度病害虫発生予報第6号(岡山県 8月29日)、  
病害虫発生予察情報について令和5年度病害虫発生予察8月月報(高知県病害虫防除所 9月5日)、  
福岡県の主な農作物の生産状況(令和5年8月18日現在)(福岡県農林業総合試験場 8月21日)、  
令和5年度病害虫発生予報第5号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 8月28日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(9月7日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(9月7日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(9月7日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(9月7日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(9月7日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(9月7日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(9月7日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(9月7日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(9月7日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(8月22日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(8月22日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(8月22日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(8月22日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(8月22日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(8月25日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(8月22日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(8月22日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(8月22日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(9月7日14時30分 気象庁)、  
エルニーニョ監視速報(No.371)について(気象庁 8月10日)、

令和5年産水稲の8月15日現在における作柄概況(農林水産省 8月31日)、  
令和5年度病害虫発生予報第6号(農林水産省 8月9日)、  
令和5年産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)